



科学センター通信

「これから」の活躍に期待しています

科学教育センター センター長 浦川 潔

「人が想像できることは、必ず人が実現できる」

この言葉を残したのは「十五少年漂流記」や「海底二万里」「月世界旅行」の作家ジュール・ヴェルヌです。日本が幕末の大混乱の時期に活躍していたフランスの作家です。当時は、荒唐無稽と言われたその内容も、今では現実のものになっているものがあります。急激な科学の発展とともに、人類の夢が実現されてきたのです。

さて、「これから」はどうなるのでしょうか。数十年前に公開されたSF映画で描かれた「現在の科学」は、未だ実現できていないことが増えています。科学の発展が鈍化してきているのかもしれませんが。

今年度、科学センターで1年間、たくさんの「！」や「？」を積み上げた皆さん。「これから」の活躍に期待しています。今、または、近い将来、皆さんたちの頭脳にその解決を委ねられる、迫られる問題が世界中で山積みです。

例えば「エネルギー問題」や「食糧問題」「環境問題」。そして、それらの問題は、バラバラではなく、複雑に単純に絡み合っています。もしかしたら、たった一つの解決策が、すべての問題を解決するかもしれません。科学に興味をもつことができた皆さんたちは、問題の解決に向けた、その入り口に立ってくれているのです。

28年度の科学センターを終えて

科学教育センター主幹 岡村 幸保

市内154人の理科大好きの子どもたちが、1年間、家庭や学校では取り組めない、楽しくて深い実験観察を体験しました。子どもたちの感想を紹介します。

「イカの解剖。目のレンズがとてもキラキラしていて、まるで宝石。感動しました。」

「自分でも、望遠鏡が作れた。電子オルゴールが作れた。うれしかったです。」

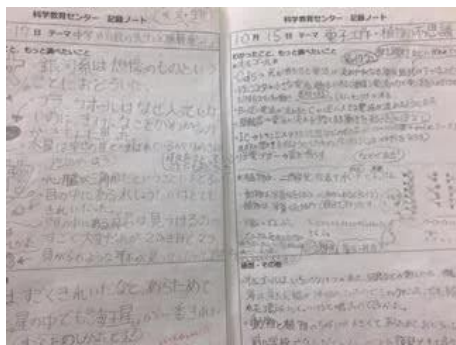
「ナズがとけると、ナズが増え、仮説を作って調べたり、ぼくは考えることが増えました。科学センターがなければつかめなかった力です。」

発見と感動、体験と喜び、科学的思考の発達・・・感想文を読むと、また、未来の科学者が生まれ、科学を愛好して歩む生き方をたくさんの立川の子どもたちがつかんだと思いました。



【科学センター手帳にびっしり！】

センター手帳は自由記帳ですが、中には詳細をイラストや文章にまとめて読み物として出版したくなるお子さんもいました！



【宇宙エレベーターロボット競技会 準優勝】

希望者で科学センターチームを結成。11/20に科学未来館で行われた競技会の小学生部門にて見事準優勝に輝きました！短い練習時間でしたが、本番の集中力は素晴らしいかったです



科学センター1年間のダイジェスト



<p>【望遠鏡作り】 レンズの仕組みを 実験を通して学んだあと 望遠鏡を手作りしました</p>	<p>【炎の不思議】 カラフルな花火作り や汗をかきながらの 火起こし体験。</p>
<p>青少年のための科学の祭典 全国大会見学 科学技術館へ 科学実験ブースを 自由見学しました</p>	<p>【中学の先生と実験観察・生物】 アジを解剖 目玉のレンズ を採取したり 内臓を観察 したりしました。</p>
<p>【電子工作】 半田ごてを使って 電子オルゴールを つくりました。</p>	<p>【中学の先生と実験観察・天文】 映像をみながら 惑星、ブラック ホールなど壮大な 宇宙を学びました。</p>
<p>【磁界と電流】 超伝導について ドライアイスの 実験など驚きに あふれた内容 でした</p>	<p>【植物の不思議】 植物には、動物には まねできないすごい 能力がある！でんぷんの 実験は味覚、嗅覚も使っ た学びでした。</p>
<p>【プラネタリウム見学】 府中郷土の森 プラネタリウムへ。 特別に望遠鏡で 黒点観察をさせて いただきました。</p>	<p>【感覚の科学】 錯覚を体験 したり、自分 と他人の体の 感覚の違いを 知りました。</p>
<p>【静電気】 静電気で回る モーター作りや 風船で静電気を 発生させました</p>	<p>【イカの体調べ】 醤油を差し 込み食道の 流れなども 確認しました。</p>

